

令和2年度
刈谷市障害者計画・刈谷市障害福祉計画・刈谷市障害児福祉計画
懇話会

日 時 令和2年10月23日（金）午後1時30分～午後3時00分
場 所 刈谷市役所 7F大会議室A
委 員（敬称略）

<出席者> 13名

愛知教育大学	名誉教授	都 築 繁 幸
刈谷市民生委員・児童委員連絡協議会	副会長	水 谷 さわ子
刈谷市ボランティア連絡協議会	顧問	塚 本 秀 子
刈谷市社会福祉協議会	会長	杉 浦 芳 一
社会福祉法人 観寿々会	施設長	橋 口 磨理子
刈谷市障害者支援センター	所長	相 澤 道 子
刈谷市身体障害者福祉協会	会長	石 川 恵美子
刈谷市肢体不自由児・者父母の会	会長	藤 井 孝
刈谷手をつなぐ育成会	会長	篠 原 真由美
刈谷市地域精神障害者家族会	会長	長 谷 川 宏
刈谷児童相談センター	主査	渡 邊 一 史
衣浦東部保健所	健康支援課長	木 戸 美代子
刈谷公共職業安定所	就職促進指導官	福 島 洋 子

<欠席者> 5名

刈谷医師会	副会長	鈴 木 一 正
刈谷市歯科医師会	副会長	酒 井 寿 人
刈谷市薬剤師会	副理事	福 島 恵 子
刈谷地区心身障害児者を守る会	副会長	榎 島 はつき
刈谷市教育委員会	委員	鶴 田 英 孝

(事務局)

福祉健康部	部長	村口文希
〃	福祉総務課 課長	迫将一
〃	〃 課長補佐	加藤覚子
〃	〃 障害企画係長	佐藤圭一
〃	〃 主任主査	鈴木邦嘉

1 開 会

資料の確認

- ・ 次第
- ・ 刈谷市障害者計画・第5期刈谷市障害福祉計画・第1期刈谷市障害児福祉計画の進捗状況について【資料1】
- ・ 刈谷市障害者計画の進捗状況【資料2】
- ・ 刈谷市障害福祉計画・刈谷市障害児福祉計画策定にかかるアンケート調査結果報告書【資料3】
- ・ 第6期刈谷市障害福祉計画・第2期刈谷市障害児福祉計画案【資料4】

会長代行選出

都築会長がリモートでの出席のため、議事進行を行う会長代行を選出。
会長代行は杉浦芳一委員が推薦され、承認を得る。

2 議 事

議事(1) 刈谷市障害者計画・第5期刈谷市障害福祉計画・第1期刈谷市障害児福祉計画の進捗状況障害者計画の進捗状況について

会長代行 議事(1)について、事務局より説明をお願いします。

事務局 障害者計画等の進捗状況についての説明【資料1、資料2】

会長代行 ただ今の説明に対し、意見や質問はあるか。

委 員 3点確認したい。1点目は資料1の成果目標(2)の精神障害者にも対応した地域包括ケアシステムの構築についてだが、令和2年度末までに協議の場を設置すると目標にあるが達成の見込はどうか。
2点目は、成果目標(3)の地域生活支援拠点の整備については令和2年度末までの設置の見込はどうか。
3点目は、計画期間内にグループホーム事業所の数は増えたかどうか。

事務局 1点目の精神障害に対応した地域包括ケアシステムの構築については、今年度から自立支援協議会内に、精神事例研修会を設けてそこで保健医療、福祉等の関係者と情報共有や協議を行っており、成果目標としては達成している状況である。

2点目の地域生活支援拠点等の整備は、平成30年度から自立支援協議会内に地域生活支援拠点検討部会を設置し、今年度末までの整備を目標に検討を進めている。

3点目のグループホーム事業所の数は、平成29年10月から現在に至るまでに4か所から6か所に増加している。

委員 精神障害に特化したグループホームの新規事業所の整備まで至らない要因は何によるものが大きいと考えるか。

事務局 場所の確保の問題が要因の一つと考える。市内の地価が高く、初期コストの捻出に苦慮している事業者が多いのでは。また、人員確保や実際のニーズなど運営の見通しを立てるための諸情報がほしいという声も聞く。

委員 2点意見を述べたい。1点目は、事業所内での虐待等を未然に防ぐチェック体制についてである。津久井やまゆり園の事件は記憶に新しく、ニュースで施設内では虐待が常習化していたとあった。行政による虐待行為を未然に防ぐチェック機能の構築を進めてほしい。

2点目は、今般、障害福祉の分野は地域移行という大きな目標のもとに、グループホーム等の新規事業所の整備を進めていると思うが、事業所を運営する上で課題となっているのが医療的ケアの対応ができる看護師の確保である。看護師を一人雇うには、一般の支援員の2倍近い費用がかかると聞く。地域移行を進めていくために、施設や人件費等に対して実態にあった補助制度を考えていただきたい。

事務局 1点目、事業所におけるチェック体制についてだが、県と共同で行う定期的な実施指導は行っているが、市独自での実施指導は現在行っていない。手法も含めて、今後検討していく内容と考えている。

2点目、実態にあった事業者に対しての補助制度については、現在もさまざまな支援や補助制度がある中で、人材の確保等の視点からどのような

支援が必要かを見極めながら、有効な手立てを構築していければと考えている。

会長代行 資料2の事業番号68の「市職員の障害者雇用の拡大」の項目だが、具体的に法定雇用率は何%で採用人数は何人足りないのか。

事務局 法定雇用率2.5%に対して刈谷市は現在2.36%であり、人数換算するとあと1名雇用が足りていない状況。必要な雇用者の換算人数としては26人で現在は25人換算となっている。

委員 今年度で閉鎖を予定しているグループホームがある。利用者の中には10年間利用していた人もおり、非常に困っているのが実情である。今後、市に相談できればと思っている。

会長代行 議題1に対して、都築会長の意見、総括をいただきたい。

会長 資料2 2ページの計画の達成状況について3項目とも「十分できている」が過半数を超えており、計画としては実行されていると評価できる。「あまりできていない」となった障害者雇用の項目については、ぜひ達成していただきたい。

成果目標にある「精神障害にも対応した地域障害ケアシステムの構築」等の達成のために組織や分野の垣根を超えた連携をより一層強化していただきたいと思う。

また、先日、刈谷特別支援学校の活動についてユーチューブで拝見した。大変興味深い内容であり、刈谷特別支援学校が今後の障害福祉施策の拠点となる施設になればと思う。

議事(2) 刈谷市障害福祉計画・刈谷市障害児福祉計画策定にかかるアンケート調査結果について

会長代行 続いて、議事(2)について事務局より説明願う。

事務局 刈谷市障害福祉計画・刈谷市障害児福祉計画策定にかかるアンケート調査結果についての説明【資料3】

会長代行 意見、質問がないようなので、議題1に対して、都築会長の意見、総括をいただきたい。

会 長 アンケート調査については、刈谷市はいつも大変回答率が高いと感じる。この資料は当事者の声が詰まっている情報なので、しっかりと計画や今後の事業に反映していただきたい。

資料に頻出するキーワードとして「グループホーム」、「困りごとの相談」、「就労支援」、「権利擁護」等が挙げられる。どれも地域移行の実現に向けて重要な要素であり、このアンケート結果を基にして、地域で安心して生活できる仕組みの整備を進めていただきたい。

議事（3）第6期刈谷市障害福祉計画・第2期刈谷市障害児福祉計画の素案について

会長代行 続いて、議事（3）について事務局より説明願う。

事務局 第6期刈谷市障害福祉計画・第2期刈谷市障害児福祉計画の素案についての説明【資料4】

委 員 資料4 41ページにペアレントトレーニング、ペアレントプログラムという聞きなれない用語がある。これらの活動指標は3年後に比較的大きな目標値が設定されているが達成できる見込みがあるのか。

事務局 ペアレントトレーニング、ペアレントプログラムは主に発達障害等の分野で用いられる手法で保護者の方々に子どもとのより良いかわり方を講習のような形でお伝えするもの。現在、県で実施しているペアレントトレーニングの事業の受講者定員が1回15名程度であるので、最終年度までに1回の開催を目標として数値を計上している。

委 員 資料4 47ページの共同生活援助の見込み数が平成30年度から令和2年度の実績を見ると伸び率が少ないように思うがどうか。

事務局 実績について、令和2年度に関しては年間の実績が出ていないため、8月1か月分のみの実績を記載しており、実質的には平成30年度と令和元年度

の伸び率を参考に見込み値を設定している。意見を参考に見込み値の設定を再度、検討させていただく。

会長代行 議題3に対して、都築会長の意見、総括をいただきたい。

会 長 当懇話会は策定される計画の妥当性と進捗をチェックすることが役割である。今後とも委員の皆様にはご協力をお願いしたい。

素案全体を見させていただいたところでは、案としてよくまとまっているものだと評価できる。パブリックコメントに十分耐える素案だと判断した。

4 閉 会

会長代行 以上をもちまして本日の懇話会を終了する。ご協力ありがとうございました。